

令和3年度 第2回鹿島市地域公共交通会議・鹿島市地域公共交通活性化協議会 合同会議

日 時：令和3年11月26日（金）15時00分～16時25分

場 所：鹿島市役所 5階 大会議室

参加者：別紙のとおり

司会進行：企画財政課長

1. 開会 企画財政課長

2. 会長のあいさつ

3. 報告

(1) 令和3年度事業報告及び決算報告について

【事務局から説明】

【質疑・応答】

委員：交通計画策定費用に関して、協議会の会計年度から完成の時期がずれるため繰越されているが、業者の方からは支払い時期や方法など了解を取れているのか。前金払等の制度もあるが活用されているのか。

事務局：制度としては前金払いなどありますが、今回に関しては事業完了後の一括支払いということで契約をしています。

会長：この計画がいつ頃出来て、いつ頃支払うのか、スケジュール的なものを紹介してください。

事務局：今回の計画策定の業務期間につきましては、令和3年6月14日から令和4年3月25日までとなっています。委託料の支払いに関しては令和4年4月頃と考えております。

委員：完成品の確認に関してはどのようにされる予定か。

事務局：今回の業務委託での一番の重要なところは計画書の内容になるかと思えます。その部分に関しては、協議会の中で協議をさせていただき、了承の下、その計画は完成品となりますので、そのように考えております。その他の書類的な確認につきましては、事務局サイドで確認をさせていただきます。

(2) 令和3年度市内循環バス及びのりあいタクシーの運行状況報告について

【事務局から説明】

【質疑・応答】

会長：コロナのために生活の在りようが変わり、どの交通機関も対応に苦慮していますが、コロナにより影響はありますか。

事務局：市内循環バスや高津原のりあいタクシーに関しては、コロナの影響は然程受けていない、月別で見れば若干落ち込んだ月もありますが、年間合計では前年度を上回っている状況です。理由としては、両路線ともに買い物や通院など生活に根付いたものであり、そこで多くの方に利用を頂いていることが一番の大きな理由と感じています。但し、路線バスやタクシー事業者におかれましては、まだまだ厳しい状況というところで伺っております。

委員：循環バスの運賃を200円から100円と変更したことによる利用者の増加は実感としてあるか。

事務局：運賃を下げたことにより利用者は一定数増加している傾向はあります。運賃値下げは平成30年10月から実施し、資料に記載しているとおり、平成30年度と令和1年度では月別の利用人も増加しています。

4. 協議

(1) 令和4年度事業計画（案）及び補正予算（案）について

【事務局から説明】

【質疑・応答】

会長：今説明の中で2点ポイントがありました。1つはノンステップの話、もう1つはラッピングの話。確認ですが、ノンステップのバスは既に市内循環バスで走っているのか。

事務局：今現在、市内循環バスとしてノンステップバスは走っています。

会長：そしたら、この資料のノンステップバスに化粧をして走らせるということですね。

事務局：そのようになります。

委員：計画策定に費用で9,000千円と計上されていますが、請負金額はいくらだったか。ピタリ9,000千円か。

事務局：8,775千円です。

委員：差額はどのようにするのか。他に支出する予定があるのか。

事務局：契約は結んでいますが、契約途中であり追加の調査、成果品の調整など、金額が変更になる可能性もありますので、予算額のまま引き続き9,000千円で計上させて頂いているところです。

承認

(2) 鹿島市地域公共交通計画の骨子（案）について

【事務局から経過報告、日本工営㈱から骨子（案）の説明】

【質疑・応答】

委員：計画目標3の中で「市内各方面から中心市街地へアクセスできる公共交通ネットワークを維持する」と記載ありますが、現状においてもネットワークを発揮できているも

のとお考えですか。

日本工営：再編すべきポイントはいくつかあると思っていますが、基本的なネットワークとしては作れていると感じている。細かい移動ニーズをどこまで拾っていくかについては検討課題と思っていて、バス路線を増やしていくのは今の現状、収支の状況を考えると現実的ではない。タクシー事業者と連携しながら、のりあいタクシーを交通不便地域へ拡大するなど検討が必要と考えています。

会 長：日本工営さんへお願いしたいのは、もちろん把握されていると思いますが、鹿島市の地理的条件、山や谷などにより放射線状に交通網が出来ない、そういう地形的な特徴があったときに公共交通をどう描くか、いいアイデアがあればと思っていますので、宜しくお願いします。

日本工営：承知しました。やはり地形上の問題で公共交通を効率的に走らせにくい地形というところが鹿島市にはあると思っています。また、市街地も大型の商業施設が点在しており、公共交通に関しては乗り継ぎに関してかなり抵抗に思っている方が多い。市街地の周遊に関しては循環バスで、市内のネットワーク作りには路線バスを繋げて行き、ネットワークづくりをしていく必要があると思っています。

7. その他

(次回開催予定) 令和4年1月開催予定

8. 閉 会 企画財政課長